

みなとのニュース

港湾業務艇(りんどう)を活用した離島の海上物資輸送訓練を実施 ～「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組～

北海道開発局 稚内開発建設部

国土交通省では、みなとの機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークとして「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取組を進めています。

稚内開発建設部では、令和7年5月25日(日)に実施された利尻町主催の「令和7年度 利尻町防災訓練」に参加し、稚内港湾事務所保有の港湾業務艇(りんどう)を活用した物資輸送訓練を実施しました。

本訓練は大規模地震により発生した土砂崩れにより

仙法志地区への陸路が分断されたという想定で、港湾業務艇(りんどう)に物資20箱(食料1,000食分)を積み込み、沓形港から仙法志漁港へ海上輸送を行いました。

仙法志漁港では利尻町の上遠野町長が出迎え、りんどうに乗船した開発局空港・防災課の齋藤課長から上遠野町長に海上輸送された物資が手渡されました。

今後とも各地で訓練を行い、大規模災害が発生した際には「命のみなとネットワーク」により“みなと”を活用した被災地への災害支援の一助となれば幸いです。



沓形港で物資を港湾業務艇「りんどう」に積み込み



沓形港から仙法志漁港へ向け出発



仙法志漁港で物資卸し



国土地理院より引用



空港・防災課の齋藤課長から利尻町の上遠野町長に物資引き渡し